

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）

分担研究報告書

前立腺癌高精度放射線治療の臨床評価に関する研究

研究分担者 小川和彦 大阪大学医学部 教授

今回の研究により、前立腺癌高精度放射線治療の臨床評価を行うための訪問調査を行い、データ収集をすることができた。

A．研究目的

前立腺癌高精度放射線治療の臨床評価と検討を行う。

B．研究方法

前立腺癌高精度放射線治療の臨床評価を行うためのアンケート調査と訪問調査を行なう。

（倫理面への配慮）

今回の検討については個人情報を集積しないため、インフォームドコンセントを受ける必要はなし。

C．研究結果

中村斑に所属する先生方と共同で行うことにより、前立腺癌IMRTにおける施設訪問調査を行い、データ収集をすることができた。

D．考察

現在の日本において、前立腺癌の放射線治療は増加しており、その重要性は益々高まっている。最近は高精度放射線治療が可能となり、その頻度も増加しているが、現在の日本における高精度放射線治療の実態は明らかになっていない。今回、前立腺

癌高精度放射線治療の臨床評価を行うためのアンケート調査と訪問調査を行い、データ収集をすることができた。今後の解析により日本の前立腺癌に対する高精度放射線治療の実態を明らかにすることができると考えられる。

E．結論

前立腺癌高精度放射線治療の臨床評価を行うためのアンケート調査と訪問調査を行い、データ収集をすることができた。

F．研究発表

1. 論文発表

- 1) Yoshioka Y, Yoshida K, Yamazaki H, Nonomura N, Ogawa K. The emerging role of high-dose-rate (HDR) brachytherapy as monotherapy for prostate cancer. J Radiat Res. 54(5):781-8, 2013
- 2) Akino Y, Yoshioka Y, Fukuda S, Maruoka S, Takahashi Y, Yagi M, Mizuno H, Isohashi F, Ogawa K. Estimation of rectal dose using daily megavoltage cone-beam computed tomography and deformable image

registration. Int J Radiat Oncol Biol

Phys. 87(3):602-8, 2013

2. 学会発表

なし

G . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし